



2015 年 10 月 28 日

公益社団法人日本フィランソロピー協会

報道関係各位

社会に役立つ寄付を行なった人を顕彰する 第 18 回「まちかどのフィランソロピスト賞」 贈呈先 決定

公益社団法人日本フィランソロピー協会(東京都千代田区/会長:浅野史郎、理事長:高橋陽子)は、このたび「第 18 回まちかどのフィランソロピスト賞」の贈呈先を決定いたしました。

第 18 回「まちかどのフィランソロピスト賞」 贈呈先

●一般部門

【まちかどのフィランソロピスト賞】

さとう ただし 様 北海道千歳市 ご在住

【特別賞】

しずく あき 様 埼玉県越谷市 ご在住

●青少年部門

【文部科学大臣賞】 加とう やしろ 加東市立 社 小学校 (兵庫県加東市)

【奨励賞】 神戸市立白川台中学校 (神戸市)

【奨励賞】 千葉県立銚子商業高等学校 (銚子市)

* 贈呈先活動内容は別紙参照

【 贈呈式 】

●日時 2015 年 12 月 15 日(火)午後 3 時～午後 5 時 30 分(5 時 30 分より懇親会)

●会場 学士会館 2 階 210 室(東京都千代田区神田錦町 3-28)

受賞者の活動をより多くの方々に知っていただくためにも、ご取材のほどよろしくお願いいたします。

【「まちかどのフィランソロピスト賞」概要】

当協会は、私財を社会のために提供した個人を顕彰し、心温まるエピソードを広く紹介することで、日本に寄付文化を育むことを目的に本賞を 1998 年に創設。これまで一般部門 32 名、青少年部門 26 団体(1 個人含む)を顕彰しています。また、寄付の文化を根付かせるためには、少年期、青年期における体験や教育が重要であるとの認識から、2005 年度に、本賞の中に「青少年部門」を創設し、青少年の取り組みも推進しております。本賞を通じ、各地域で行なわれている寄付の実態を詳らかにし、日本に寄付の文化を醸成する一助とします。

本件に関する問い合わせ先

公益社団法人日本フィランソロピー協会 担当:石樽 康利/宮本 栄

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 2 階 244 区

TEL 03-5205-7580 FAX 03-5205-7585 E-mail: JPA-machikado@philanthropy.or.jp

協会ホームページ: <http://www.philanthropy.or.jp/>

(別紙)贈呈先について

●一般部門

【まちかどのフィランソロピスト賞】佐藤^{さとう} 忠^{ただし} 様 北海道千歳市^{ちとせ} ご在住

佐藤忠さんは、道立北海道千歳高等学校の定時制に通う 65 歳の高校生。樺太からの引き揚げ後、稚内に近い宗谷郡猿払村で生まれ育つ。両親は農業と酪農を営んだが、生活は苦しく高校進学を果たせなかった。しかし年々「学びたい」気持ちが強くなり 60 歳で進学を決意。昼間は高齢者福祉施設の調理担当として働き、夜間は高校に通う生活の中から、「若い人に役立ててほしい」と千歳市の奨学基金に 100 万円を寄付。

【特別賞】雫^{しずく} 有希^{あき} 様 埼玉^{こしがや}県越谷市 ご在住

雫 有希さん(リングネーム)は女子プロレスラー。長野市の善光寺大本願(※)の社会福祉法人が運営する乳児院を支援するため、2010 年からチャリティー自主興行を開催。2013 年、趣旨に賛同したレスラー仲間と「きらきら太陽プロジェクト」を発足。これまでに累計 126 万円を寄付。

(※)善光寺大本願…善光寺の創建(642 年)当初からその歴史を共にしてきた尼僧寺院

●青少年部門

【文部科学大臣賞】加東^{かとう}市立 社^{やしろ} 小学校 (兵庫県加東市)

1988 年より 28 年間、ボランティア委員が中心となり、ネパールの小学校建設支援のための「お年玉募金」を継続。累計約 250 万円の寄付は、小学校 10 校の整備に役立てられている。阪神・淡路大震災後には、ネパールの子どもたちが、家で栽培したジャガイモを販売して集めたお金を同校へ送金するなど、ネパールとの絆は、一時期、道德の教科書に掲載された。その交流は現在まで続く。

【奨励賞】神戸市立白川台中学校 (神戸市)

学校教育にボランティア活動を位置づけ、「中学生の目線で地域社会の課題を考え、できることを実行する」との考えで、全生徒がボランティアクラブの一員として様々な活動に参加する。活動に必要な資金の一部は駅頭や、地元企業や福祉施設等、近隣約 40 事業所での募金活動で調達。毎年 10～20 万円を東日本大震災などの被災地支援、地域の独居高齢者に年賀状を送る福祉活動に役立てている。

【奨励賞】千葉県立銚子商業高等学校 (銚子市)

昨年度、「地域活性化」の課題研究授業を受けた3年生(当時)が、脱線事故で窮地に陥っている地元企業・銚子電鉄を応援するプロジェクトを立ち上げ、車両修理代を賄うためにクラウドファンディングを活用。全国に寄付を呼び掛け、修理総額 1,500 万円のうち 395 万円を調達。その他の寄付、物品販売収益金を含め約 500 万円が銚子電鉄への寄付となった。プロジェクトは後輩に引き継がれ、物販やイベント等での収益金寄付を継続。

【公益社団法人日本フィランソロピー協会について】

1963 年設立、1991 年よりフィランソロピーの推進事業を開始。2009 年に公益社団法人としての認定を受ける。企業の CSR・社会貢献担当者を対象とした定例セミナーや機関誌『フィランソロピー』の出版などの各種事業を通じて、民間の果たす公益の主体となる企業や個人の社会参加意識を高め、公正で活力ある心豊かな社会の実現を目指す。会員企業は 113 社(2015 年 10 月 1 日現在)